



祝 鳥羽志摩の海女が日本遺産に認定！

5月20日、「海女（Ama）に出逢えるまち 鳥羽・志摩～素潜り漁に生きる女性たち」が文化庁により日本遺産に認定されました。日本遺産は地域の歴史的魅力や特色を通じて、有形・無形の文化財を地域が主体となって発信するストーリーが評価されるもので、新たに16件が認定されました。

東京国立博物館での認定証交付式に出席した中村市長は「海女文化が日本を代表する歴史文化の一つとして評価された。ユネスコ無形文化遺産登録に向けて追い風になる」と喜びを語りました。



歓迎！豪華客船EUROPA^{オイローパー}2が初寄港

5月10日、マルタ船籍のEUROPA^{オイローパー}2が鳥羽へ初寄港し、鳥羽マリンターミナルで鳥羽港クルーズ船誘致受入協議会による歓迎セレモニーが開催されました。

セレモニーでは、海女をモチーフにした盾と「2」の形の盾が初寄港の記念に交換されました。

同船には主にドイツからの観光客が乗船しており、希望者は伊勢神宮や海女小屋などを訪れるツアーに参加しました。また、出港時にはリメンバー赤いハンカチのイベントも行われ、参加者は赤いハンカチを振って見送りました。



石神さん春祭りで海女らが「大漁祈願」

5月7日、相差町の神明神社境内で第17回石神さん春祭りが開催されました。この祭りは、毎年海女さんらの安息日である磯日待^{いそひまち}に開催され、男衆らが女性らに料理をふるまいます。

式典には相差海女組合の海女8人も磯着姿で参加し、大漁を祈願しました。同組合会長の中村千津子さんは「海女の高齢化が進んでいるが、若い後継者を育てていきたい」と語りました。



5月1日令和婚♡末永くお幸せに

新元号「令和」に改元した5月1日、婚姻届の受付窓口を臨時開設しました。通常の休庁日は市役所本庁舎の宿直室で婚姻届を預かりますが、5月1日限定で臨時の受付窓口を開設し、7組の届け出を受け付けました。

この日婚姻届を提出し、特設の写真コーナーで記念撮影をした中村琢さん・麻希さん夫妻は「元号が変わるタイミングで入籍できて記念になった」と話してくれました。